

令和8年度主要事業「まちづくり推進基金」充当事業

主要事業	No.	主要事業分 (千円)	基金充当額 (千円)	後年度予定 (千円)
安心して働き、子育てができる環境づくりと子どもの育ち支援の充実				
子育てに係る家計・ゆとり・安心のサポートの取組強化				
コワーキングスペース運営事業の実施	4	5,816	4,333	3,678
個々の状況に応じた最適な学びの保障				
地域クラブ活動の推進	3	418,741	98,592	—
学校水泳授業の民間施設活用モデル事業の実施	18	33,683	19,665	—
まちの価値を高める良好な住環境の形成とエリアブランディングの推進				
鉄道駅を中心とした街の魅力と活力の創出に向けた取組の推進				
公共サイン再整備事業の実施	69	6,930	6,930	—
安全かつ快適に住み続けられる住環境の実現				
公共交通に係る再構築の推進	70	31,191	18,191	—
AIオンデマンド型交通実証運行の拡充	71	6,000	6,000	—
市内事業者の挑戦を応援し、多様な人材が活躍できる地域経済活性化				
地域経済の成長へつながるイノベーション創出支援				
イノベーションを生み出す環境づくり	47	43,000	28,000	56,000
合計		545,361	181,711	59,678

コワーキングスペース運営事業の実施 5,816千円

(女性・勤労婦人センター指定管理者管理運営事業、男女共同参画社会づくり関係事業 令和8年度事業費 69,536千円)

所属：総合政策局 ダイバーシティ推進課
経済環境局 しごと支援課

事業の内容

【背景・目的】

女性の就業者数は増加する一方で、出産を契機に女性が非正規雇用化すること等によって、正規雇用比率が年代とともに低下する「L字カーブ」を描いており、出産・育児と仕事の両立の難しさといった構造的課題が残されている。就労継続できる環境づくりを進め、希望に応じた柔軟で多様な働き方やキャリアアップをサポートしていく必要がある。

【事業概要】

尼崎市女性センタートレピエにおいて、子どもを預けてテレワークやフリーランス活動、育休復帰・就労・再就職に向けた資格取得等の準備やキャリアアップ等の相談ができるほか、利用者間の交流にもつながるコワーキングスペースを設置し、「働く」と「子育て」の両立を支援する。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】「コワーキングスペースを利用したことで、働きやすくなった・育休復帰や再就職に向けて準備がしやすくなった」と回答した人の割合【単位】%【R10目標値】-

【アウトプット(活動指標)】コワーキングスペースの利用者数【単位】人【R10目標値】700

コワーキングスペースの利用により、希望に応じた多様な働き方や女性の就労継続・促進につなげる。

事業イメージ

子どもを預けて育休復帰に向けて準備したいな



再就職に向けて勉強できる場所があればいいな



コワーキングスペースの設置

(場所) 尼崎市女性センタートレピエ
(開館日時) 平日週2日、土曜日1日/午前10時から午後4時まで
(対象者) 尼崎市在住または在勤の女性など
(設備・サービス) 電源・Wi-Fi完備、ベビーカー乗り入れ可

利用料**無料**
(要予約)
(定員あり)

使い方の例

育休からの職場復帰準備

テレワークやフリーランス活動

就労・再就職に向けた資格取得準備

特徴

一時保育あり
(定員あり)

雇用就労支援員によるキャリア相談

コミュニティマネージャーによる、利用者同士の繋がりづくりをサポート

地域クラブ活動の推進 418,741千円

(地域クラブ活動推進事業、中学校施設整備事業 令和8年度事業費 589,869千円)

所属：教育委員会事務局地域クラブ推進担当

事業の内容

【背景・目的】

少子化や教員不足で競技種類の減少などにより、部活動での経験の機会が縮小している。本市市立中学校の生徒が、将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、「地域クラブ活動」の取組を推進し、部活動からの移行を進める。

【事業概要】

尼崎市スポーツ振興事業団との連携の下、地域クラブの拡充を進めるほか、夜間照明の設置等活動環境の整備を行うなど、取組推進を図る。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 地域クラブでの活動に関するアンケートで、活動について「大変充実している」「充実している」と回答する生徒の割合

【単位】 % 【R9目標値】 90

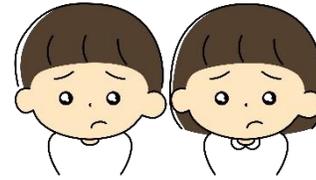
【アウトプット(活動指標)】

地域クラブに加入している生徒数の割合を学校部活動と同水準にする

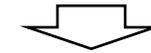
【単位】 % 【R10目標値】 70 (令和6年5月1日現在)

多くの生徒たちが、充実した地域クラブ活動を行う中で、様々な学びを深めていくことを目指す。

事業イメージ



学校にない競技・活動は選べない
競技や活動の魅力を十分体験できない
自分に合った強度や頻度で活動したい



「やりたい」「やってみたい」を育てる「地域クラブ活動」
部活動と外クラブの「いいところ」を備えた活動として、子どもの選択肢を広げ、新しい学びにつなげる

校区にしばられない
選択が可能

今までにない競技・活動
自分に合った活動方針

競技・活動の魅力を実感
(経験ある指導者が指導)

地域の大人や他校生との
関わりによる成長

地域みんなで支える

地域クラブ

保護者
会費等

学校
施設利用等

事業者
協賛など

地域人材
指導者輩出

行政
全体の支援

学校水泳授業の民間施設活用モデル事業の実施

33,683千円

No.18

(学校体育関係事業 令和8年度事業費 34,818千円)

所属：教育委員会事務局 学校教育課

事業の内容

【背景・目的】

本市の学校プール施設は約6割が耐用年数の45年を越えており、学校プール施設の老朽化により建設改修費用等のコストがかかる。
また、教員の指導力向上、負担軽減も見据え、学校水泳授業の民間委託を踏まえた本市の実情に合った効果的・効率的な授業の在り方の検証を行う。

【事業概要】

学校プール施設の耐用年数を越える学校を対象に、民間施設活用実施に向けての課題解決方法を、モデル実施により検証し、今後の方向性を決定していく。
また、インストラクターによる指導実践により、小学校教員の指導力向上、負担軽減を図る。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 アンケート（教員・児童）による検証

【単位】 - 【R10目標値】 -

【アウトプット(活動指標)】 -

【単位】 - 【R10目標値】 -

児童の意欲の向上、泳力の向上が図れたか、教員の指導力向上と負担軽減につながっているか、建築改修費等のコスト削減ができたかを確認する。

事業イメージ

【民間施設を活用した水泳授業】



- インストラクターが水泳指導を行う。
- インストラクター1人につき、児童15名程度のグループに分ける。
- 教員はプールサイドから評価を行う。または児童と一緒に入水する。
- 令和8年度については、施設バスを活用するモデルと校区外の施設へ徒歩移動するモデルを検証する。

公共サイン再整備事業の実施 6,930千円

(都市美形成関係事業 令和8年度事業費 7,518千円)

所属：都市整備局 開発指導課

事業の内容

【背景・目的】

市内には公共サインが多くあり、交通、施設、文化財、観光などの案内や、警告やマナー推進など多種多様であり、設置後の経年劣化、情報の未更新、QRコード等の技術に未対応といった課題がある。地域の魅力ある景観の形成を誘導しエリアブランディングの推進を目指して、デザインを統一したサインの整備を進める。

【事業概要】

公共サインを再整備するため、QRコード等の技術に対応し、観光にも配慮したデザインに係る共通ルール等を検討する。また、整備効果が高い駅前から順次、公共サインを整備する。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 「現在の住環境は快適で暮らしやすい」と感じている市民の割合

【単位】 % 【R10目標値】 90

【アウトプット(活動指標)】 -

【単位】 - 【R10目標値】 -

主要駅にある公共サインの更新によって、エリアブランディングを推進する。なお、令和8年度中に共通ルールを策定予定であるが、現時点では整備内容等が確定していないため、活動指標は設定しない。

事業イメージ

【現状】 異なるデザイン・老朽化・新たな要素（観光）・情報過多



【新たな機能の追加】 地図アプリ・QRコード・迅速な情報更新

【令和8年度】 公共サインのデザインに係る共通ルール等の検討

【令和9年度以降】 各管理者による公共サインの設計&整備に着手

公共交通に係る再構築の推進 31,191千円

(尼崎市路線バス運行支援補助金、交通政策推進事業 令和8年度事業費 238,745千円)

所属：都市整備局 交通戦略推進担当

事業の内容

【背景・目的】

深刻な運転士不足や厳しい経営環境により路線バスサービスの維持が困難な状況にある。そのような中、本市では尼崎市路線バス運行支援補助金によりバス路線の維持を図っている。

【事業概要】

都市計画道路園田西武庫線の藻川工区の開通に伴って新設される、食満地域と園田地域を結ぶバス路線について、新規路線であり需要が見通せないため、収支状況に応じて運行費用の一部を補助する。また、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、阪神バスの尼崎市内線における乗降客データ等を分析するため、阪神バスの乗降人数自動集計システム導入に対し、費用の一部を負担する。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 ①延伸後の当該路線の増加乗客数 (1日平均) ②-

【単位】人 【R10目標値】 ①140 ②-

【アウトプット(活動指標)】 ①延伸後の当該路線の運行回数 (1日平均) ②システムで取得したデータ日数分

【単位】 ①回/日、②日 【R10目標値】 ①22 ②180

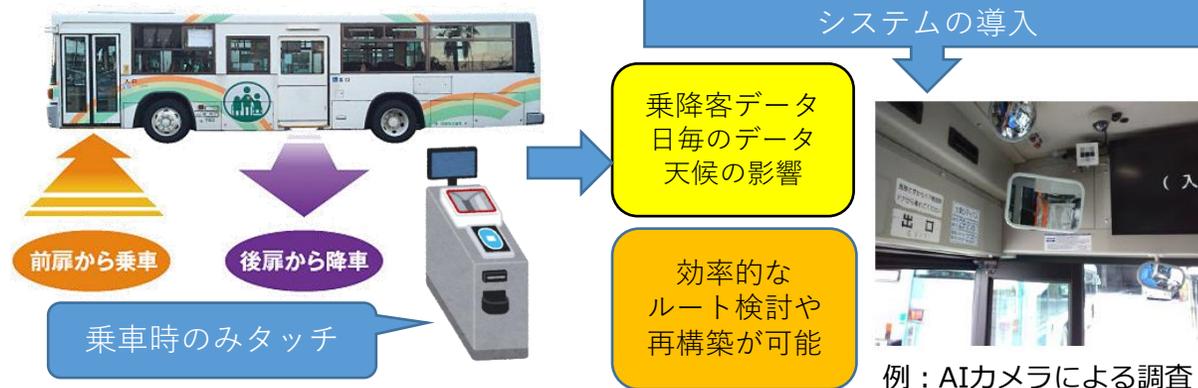
②にかかる成果指標については、路線ネットワークの見直しに必要なデータ取得が目的のため、設定しない。

事業イメージ

①園田西武庫線延伸に係る路線運行支援補助金の拡充



②乗降人数自動集計システム導入



AIオンデマンド型交通実証運行の拡充 6,000千円

(交通政策推進事業 令和8年度事業費 25,973千円)

所属：都市整備局 交通戦略推進担当

事業の内容

【背景・目的】

深刻な運転士不足や厳しい経営環境により路線バスサービスの維持が困難な状況にある。引き続き、利便性の高い公共交通ネットワークを維持するため、情報通信技術を活用した効率的な交通サービスの導入を検討する必要がある。

【事業概要】

尼崎市総合交通計画に基づき、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、路線バスを補完する新たな交通サービスの実証運行を行う。令和8年度は実証期間の延長と実証区域を拡大する。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 AIオンデマンド型交通が必要だと感じる人の割合

【単位】 % 【R10目標値】 90

【アウトプット(活動指標)】 利用者数

【単位】 人 【R10目標値】 1,500

既存の路線バスと調和しながら持続可能かつ利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。

事業イメージ

路線バスの利便性低下の影響が大きい園田地域において、AIオンデマンド型交通*により市民の移動手段を補完することの有用性を検証するため、期間を限定し実証運行を実施する。

運行計画 (R8想定)

区域 園田地域 (食満地域を追加)

期間 6か月程度

運賃 500円/回

※AIにより利用者の予約に応じた配車を自動で行い、複数の利用者の乗合を効率的に実施する交通サービス

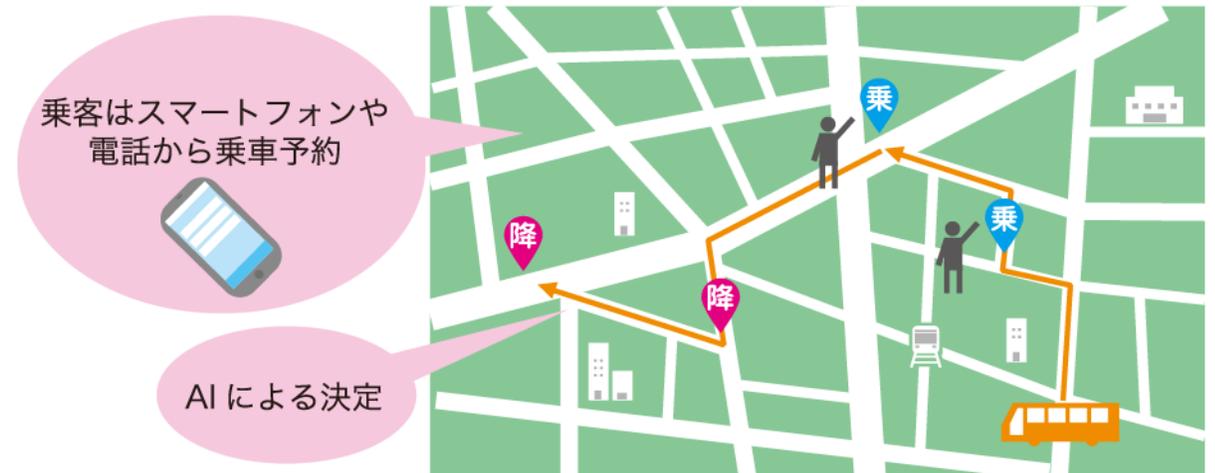


図 AIオンデマンド型交通イメージ (国土交通省)

イノベーションを生み出す環境づくり 43,000千円

(イノベーション基盤整備事業 令和8年度事業費 112,704千円) [正規職員 1人増員]

所属：経済環境局
イノベーション推進担当

事業の内容

【背景・目的】

市内企業のイノベーション創出や創業の促進等の支援を行う施設整備や支援人材育成を通じ、地域のイノベーションを生み出す基盤を強化する。

【事業概要】

オープンイノベーションコア尼崎（OIC）による新たなオープンイノベーション拠点の開設に伴う経費や、尼崎創業支援オフィス「アビーズ」の改修費用を一部補助するほか、有識者による研修やOJTを通じ、職員の課題解決力や伴走支援力、ファシリテーション能力等の向上を図る。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 イノベーション創出件数

【単位】 件 【目標値】 2035年までに100

【アウトプット(活動指標)】 イノベーション支援人材の育成数

【単位】 人 【R10目標値】 60

市内企業のイノベーション創出や、創業の促進等の支援を行う施設整備や支援人材育成を通じ、将来の地域経済エコシステムの構築とともに、さらなるイノベーション創出を目指す。

事業イメージ

オープンイノベーション拠点整備 ※1

- (1) オープンイノベーション拠点開設に伴う経費の一部補助
- (2) 尼崎創業支援オフィス「アビーズ」の改修費用の一部補助

イノベーション支援人材の育成 ※2

- (1) 企業への伴走支援力強化研修
- (2) 他の支援拠点運営者等との交流会
- (3) イノベーション支援事業の企画・実施の伴走支援
- (4) 共創拠点コミュニティイベントの共同ファシリテーション
- (5) 職員・従業員への個別メンタリング 等



※1 オープンイノベーション拠点とは、企業や大学、行政、市民など多様な主体が集まり、新しい技術やビジネスモデルを共創するための場所

※2 OIC構成団体である、尼崎信用金庫、尼崎商工会議所、（公財）尼崎地域産業活性化機構、（一財）近畿高エネルギー加工技術研究所、尼崎市の職員・従業員を主な対象として実施を想定